

国際児童画展（51年継続）



「第51回高崎ユネスコ国際児童画展」が、令和5年10月20日～25日（高崎市民シティギャラリー）にて今年も無事に開催されました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い来場者への検温や健康調査票への記入は求めず、会場入り口に手指消毒の用意をしての開催となりました。

コロナ禍で抑えていた出品数もコロナ前に戻し学級数としました。

その結果、小学校からは866点、中学校・特別支援学校からは358点、合計1254点（昨年756点）画出品されました。

19日に搬入と図工・美術主任会の先生方による審査が行われました。



入賞者は、94名（小学生62名、中学・特別支援学校生32名）でした。

高崎ユネスコ協会長賞に選ばれた作品

小学校の部： 高崎市立六郷小6年 吉田奈未

「私の居場所」



中学校・特別支援学校の部： 高崎市立高松中学校 3年 坂口礼積
「ポーちゃん」



今年は出品数が増え、天候にも恵まれ、昨年よりもとても多くの来場者に見ていただくことができました。



5日間の総入場者数は4,361名でした。また同時に受付で行った寺子屋募金への協力額は23,299円でした。

アルゼンチン児童の作品も展示

今年度は東京会会長の知人のご協力により、アルゼンチンの子どもの作品20点画飾られました。



(上：アルゼンチンの子ども達の絵、下：六郷小ユネスコスクールの取り組み)

六郷小学校のユネスコスクールの取り組みも展示させていただきました。